

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

仁叟寺永代供養墓地「大樹苑」建立

本年の大般若会大施食会法要に先立ち、新たに造営いたしました仁叟寺永代供養墓地「大樹苑」の開眼供養法会が行われました。以前より境内に所在する「眞佛苑」「普同塔」のほか、五輪桜の周りに整備されました「冥福五輪塔」、樹木自然葬型や分譲区画型の個人墓及び家族墓のご提案が受け付けられることとなりました。

令和2年

仁叟寺年間行事予定

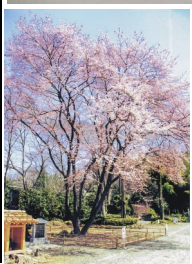
- 1/1～1/3年頭祈禱・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釈尊涅槃会
- 3/8 大般若会/大施食会
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/17～3/23 春季彼岸会
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 7/13～7/16 新暦盂蘭盆会
京浜地区檀信徒棚経
- 7月下旬(一泊二日)
第39回子供禪の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 盂蘭盆会
- 9/19～9/25 秋季彼岸会
- 10月 檀信徒研修旅行
- 12/8 釈尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会

- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古
- ※隔週金曜日 華道教室
- ※毎月1回土曜日 ヨガ教室



(上) 永代供養付分譲個別墓

(下) 永代供養付樹木自然葬墓



五輪桜



モクの木



カヤの木

昨今の葬送及び供養に関する時代の潮流に合わせ、当山でも県内で先駆けて、独立型永代供養墓「眞佛苑」、納骨堂「普同塔」を建立いたしました。以来、多くの方々より申し込みがあり、丁寧に供養を行っています。

この度、株式会社エーダイが中心となり、当山五輪桜の周囲を整備し、樹木自然葬型や分譲個別型の墓所を造成いたしました。説明や資料の請求を希望される方は、遠慮なく当山若しくは同社までご連絡をお願い申し上げます。

同墓所は、仁叟寺本堂北側に所在し、高崎市天然記念物モクの木、高崎市保存樹仁叟寺五輪桜に囲まれた自然豊かな場所です。是非一度ご覧下さい。

㊤仁叟寺三大銘木

仁叟寺除夜会、大節分会、盛会裏に圓成

本年も総代人、世話人様はじめ多くの関係各位の皆様方のご協力を以て、大晦日除夜会、年賀諸行事、大節分会、涅槃会、大般若会大施食会等、伝統の行事をつとめることが出来ました。有難うございました。

本年の大節分会は、天候にも恵まれ、子供さんや家族連れを中心に多くの参詣者で賑わいました。また来賓の蘭華寺様、中曽根弘文ご令室様、福田達夫秘書様、飯塚邦広様、寺本欣一治様にご臨席賜りました。

大般若会では、新型コロナウイルスによる感染症拡大に伴う社会情勢を鑑み、規模を縮小し、落語会を中止といたしました。ご了承下さい。

多くの方に支えられ、伝統の行事が行われております。この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。



上) 大節分会風景 下) 除夜会の様子



(撮影・大澤竹治世話人)

自らを洲とする ～長野県被災地支援～

昨年12月9日、千曲川水害被災地域である長野県に伺って参りました。奉仕作業を、副住職ほか群馬県曹洞宗青年会と曹洞宗長野県第一青年会の有志で、被災地域である長野市津野地区にてつとめさせていただきました。当地区に所在する曹洞宗妙笑寺様は、千曲川堤防が決壊した場所の傍にある寺院で、昨年に新本堂の落慶を終えたばかり。主に同寺にて復旧に向けた作業を行いました。

出来る人が出来る時に出来る事を行う。引き続き、これからも協力をさせていただければと考えております。



↑ 決壊した千曲川堤防
↘ 妙笑寺様での作業風景
← 長野・群馬青年会員と大阪社協の皆様

龍源寺境内地及び墓地、人災被害について



龍源寺境内地及び墓所に流入した木材等の産業廃棄物



昨年10月12日に仁叟寺末寺であり副住職が住職をつとめま
す龍源寺の境内地及び墓所を襲った土砂災害は、当初台風19号
による天災と思われましたが、不法投棄行為による人災であり
ました。もとより400年以上、大きな災害もなく高崎市のハ
ザードマップにも記載のない安全な場所でありました。原因の
調査を、群馬県及び高崎市で行い、結果山頂部にあった人為的
に投棄された産廃が流れ込んできた事件であることがわかり、
現在、行政の管轄は高崎市環境部が窓口となっています。



原因となる投棄を行ったのは、多野造園土木株式会社（田中広幸社長）であり、当該土地の所有者は田中社長の義兄である羽切吉胤氏。両氏は事件発生2日後に謝罪に訪れ、その後2度に亘って龍源寺及び被災檀信徒20軒に謝罪と原状回復を約束。さらに10月21日には、住職及び白田博総代長と共に、原状回復及び再発防止を行う覚書に署名捺印を交わしました。

しかしながら、12月6日。田中社長はご遺骨を安置している本堂祭壇前での話し合いにて、見積りも未だ出ていない時に、墓所復旧の支払いを拒否。更に当事件は災害であり支払いはしない旨とする調停を住職宛に起こしました。その後、当山では被災檀家、地区住民等と話し合い、田中・羽切両氏を集団提訴するに至りました。当寺だけでなく地域にも迷惑を掛け、多くの方が悲しみ、怒り、困っています。何卒事情をご理解いただき格別なるご協力をお願い申し上げます

住職、群馬県駒澤大学同窓会会長を拝命



駒澤大学キャンパス

昨秋より、仁叟寺住職が群馬県駒澤大学同窓会会長を拝命いたしました。駒澤大学は、東京都世田谷区に所在し、安土桃山時代より梅檀林と称し、曹洞宗門の学林であり、420年程の歴史があります。仏教学部のほか法学部、経営学部、経済学部、文学部などを有する総合大学で、同窓生も各方面にて活躍。群馬県同窓会は住職夫妻も属し、会員数は7,000名を超えます。

本年に駒澤大学総長に就任した永井政之教授は、群馬県渋川市良珊寺住職であり、当県では初となる総長の誕生となります。同窓会としても祝賀記念行事を企画しております。母校の益々の発展を祈念いたします。

令和元年度 御寄進者一覧 (順不同、敬称略)

番号	地区	氏名	寄付品物
1	高崎	寺本 欣一治	境内街路灯
2			文珠堂前青銅獅子像一对
3	高崎	龍見 由三郎	青銅製聖観世音菩薩像及び台座
4	神保	東京精密管	工場跡地整備費
5	矢田	齋藤 悦男	本堂照明燈
6	長根	大塚 孝太郎	
7	吉井	吉井 晃	薄茶紗大衣
8	岩崎	鈴木 昌邦	本堂前おみくじ結び台
9	塩	向井 敏昭	青銅製燈籠
10			もみじ山鹿よけ防護柵一式
11	高崎	高橋 正信	三波石、北海道赤石
12			石燈籠2基
13	高崎	高山 香里	観音像前照明燈一对
14	神保	瀬間 弘明	本堂内四部屋天井張り替え
15	下長根	唐澤 武士	樗製卒塔婆立
16	下長根	榊原 義房	
17	吉井川	多胡石材産業	文殊堂前獅子像御影石台座
18	黒熊	三木 宏明	小太鼓
19	吉井	鈴木 淳子	車椅子
20	高崎	竹内 智志	檀信徒会館「欣光閣」前
21	深谷	斉藤 実	庭敷石参道造成工事一式
22	前橋	鈴木 ミツ卫	(平成31年3月より継続事業、令和元年6月完成)
23	新盆檀信徒一同		本堂東室中畳替(12畳)
24			欣光閣廊下板張作業

この度の御寄進、
誠に有難うございました。
合掌

行雲流水 (編集後記)

編集人 副住職 渡辺龍道

当寺報中に記載させていただいたとおり、昨年秋より住職をつとめます龍源寺の人災被害における対応でバタバタしております。産廃の流入により、墓所21区画に甚大な被害が出て、墓石塔被災はもとより残念ながらご遺骨が不明または破損した方もおられます。関係者による会議も連日行っており、被災檀信徒、総代人世話人など寺院関係者、地区区長を中心とした地域住民が一丸となり、原状回復と再発防止に向け、取り組んでいます。これだけの事件を起こし、誰も責任を取る事のない社会は健全ではないと感じております。復旧に向け、更なる精進をさせていただきます。合掌(龍)